

第10章 江川東遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

江川東遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約700～1,000m程下った右岸に位置している。標高15～19mで現谷底との比高差は3mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、右岸は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は谷頭部付近に亀居遺跡、対岸台地上に鶴ヶ舞遺跡、南側に東久保遺跡がある。

本遺跡は旧大井町の地域で最も早く市街化された区域内にあり、現在は表面採取がほとんど不可能であるが、一部残された畑地には須恵器が散布する。第2地点の調査では、近世の土坑・ピットを検出している。2015年11月現在23地点で試掘及び発掘調査を行っている。

II 江川東遺跡第19地点

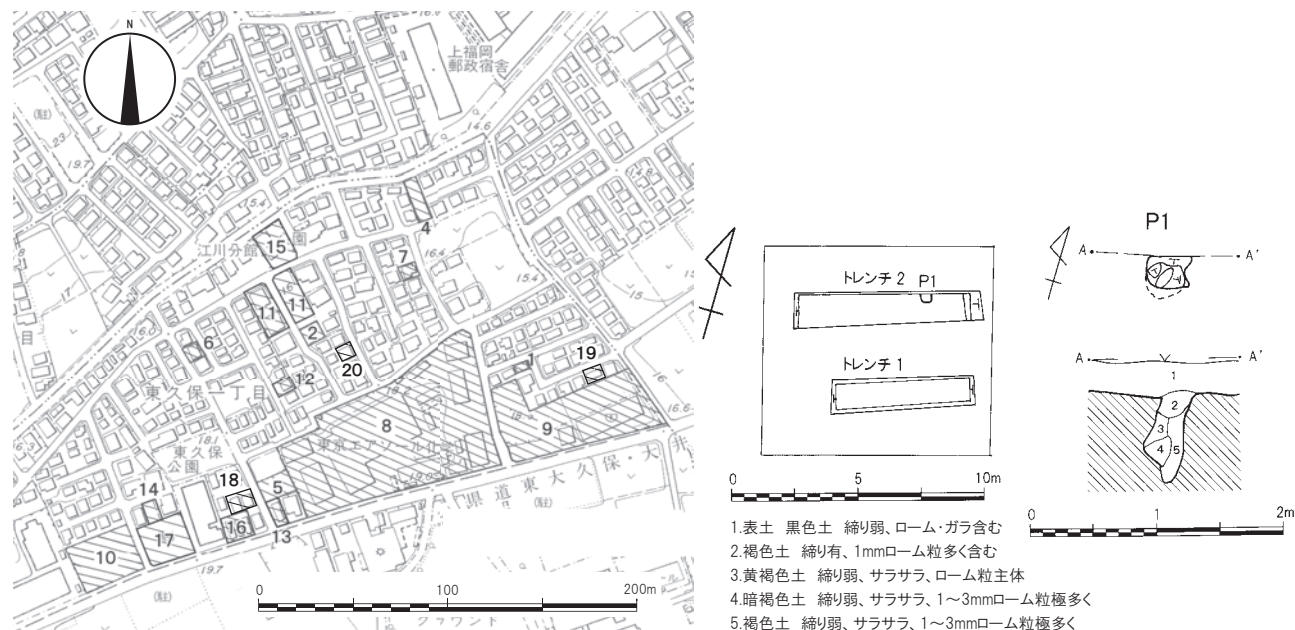
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2012年5月12日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡東端部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2012年7月24日、幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。試掘調査の結果、遺構らしき覆土を確認したので、調査したところ時期不明のピット1基であった。平面形態は方形、規模は上端33×26cm、下端20×8cm、深さ68cmを測る。その他に遺構・遺物は確認できなかったため慎重工事の措置とした。地表面から遺構確認面までの深さは約30cmである。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

第31表 江川東遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²) ()は開発面積	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
10	東久保1-174-1,36	(2005.10.13~24)	267(881)	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市2
11	東久保1-162-1,14	(2006.11.9~15)	200(674)	分譲住宅	遺構検出	市3
12	東久保1-27-3	(2006.11.10)	6(72)	宅地造成	遺構遺物なし	市3
13	東久保1-155-4	(2006.8.11)	24(114)	個人住宅	遺構遺物なし	市3
14	東久保1-174-38	(2007.5.25~29)	30(67)	個人住宅	遺構遺物なし	市4
15	東久保1-136-5	(2007.9.11~13)	91(344)	公民館分館	遺構遺物なし	市4
16	東久保1-176-13~16	(2009.9.14~15)2009.9.16~18	63(148)	個人住宅	縄文時代集石土坑1	市8
17	東久保1-177-1	(2009.12.10~18)	156(556)	地下埋設物調査	遺構遺物なし	市8
18	東久保1-176-9	(2011.11.28)	(72)	個人住宅	遺構遺物なし	市14
19	東久保1-146-6	(2012.7.24)	(74.2)	個人住宅	時期不明ピット1、遺物なし	市15
20	東久保1-160-29	(2013.7.20)	10.5(71.94)	建売住宅	遺構遺物なし	未報告
21	東久保1-180-1	(2013.11.21)	(570.0)	宅地造成	遺構遺物なし	未報告
22	東久保1-160-30	(2014.9.30, 10.1)	11.0(72.44)	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
23	東久保1-180-11	(2014.10.10)	29.4(180)	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
24	東久保1-32-12	(2015.11.27)	6(91.92)	個人住宅	遺構遺物なし	未報告



第38図 江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第19地点遺構配置図(1/300)、ピット(1/60)



江川東遺跡第 19 地点全景